

文學博士 富士川 游撰

児童乃教養

全一冊

菊判二百餘頁
多數圖畫挿入
正價金一圓七十錢
郵稅六錢

児童をば善く且つ強く又我々國民の要求に副ふやうに致養するには、現代の科學の知識に基きて合理的にこれを致養せねばならぬ。我が富士川博士を所長とせる中山児童教養研究所は深くこの點に鑑みるところがありて、児童教養に關する現代の科學的知識の普及を圖るために児童教養に關する通俗科學展覽會を開き、多數の表紀・圖畫・寫眞・標品等を蒐集し、これを總説、遺傳、發育、乳兒、幼兒、學齡期兒童、成熟期兒童、器官、榮養、衣服、住居、睡眠、疾病、異常兒童の部門に分ち、或はこれを内外諸家の論説に徴し、或はこれを自家經驗の所得に照し、その要を摘み、華を抜き展觀の便に供せられた。この書はその内より更に實際に緊要なりと認められるものを選びたるもので、まことに現代に於ける児童教養の科學的知識の精華を集めたるもので、多年の辛苦によりて始めて得らるべき知識が僅に數時間の間に得らるべき利益がある。世の母親たるもの、児童保護の任に當るもの及び児童教養の職にある方々のために最善の講本であることを信ずる。謹しみてこれを江湖に推獎する。

發行所

東京市本郷區本富士町二番地（電話小石川）
振替口座東京三一八一〇番（七七六七番）

養正書院